

未来のモビリティを支える 基盤数理

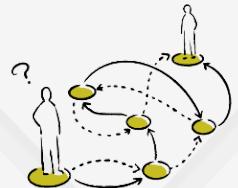
2020年4月からの6年間、京都大学を中心とした
数理・情報学の研究者とトヨタ自動車未来創生センターが連携し、
「未来のモビリティ社会実現のための基盤数理」をテーマに
研究に取り組んできました。
本シンポジウムでは、これまでの研究活動を振り返り、
今後の展望について議論します。

参加費
無料



日時

2026年3月16日（月）
13:00開始（12:30 開場）



会場

ミッドランドホール
名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
ミッドランドスクエア オフィスタワー5F



定員

対面…100名
ウェビナー…200名



申込み

QRコード
もしくはURLよりお申し込みください
<https://peatix.com/event/4823612>



申込締切 3月9日まで

共催

トヨタ自動車 未来創生センター
京都大学 モビリティ基盤数理研究ラボ・京都大学 成長戦略本部

PROGRAM

※プログラムは予告なく変更される場合がございます

time	ミッドランドホール（ハイブリッド）
12:30	開場
13:00-13:05	開会のあいさつ トヨタ自動車 未来創生センター 谷口 真
13:05-13:20	モビリティ基盤数理について 京都大学 情報学研究科 山下 信雄
13:20-13:50	『モビリティデータ解析に向けたテンソルネットワーク技術の応用例』 京都大学 情報学研究科 原田 健自
13:50-14:20	『バスルート最適化のための機械学習技術』 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域 池田 和司
14:20-14:50	『カーシェアリングサービスのためのシステム数理的アプローチ』 大阪大学 基礎工学研究科 小林 勇斗 櫻間 一徳
15:05-15:35	『みんなが納得できる割当て：公平性と効率性の視点から』 京都大学 数理解析研究所 牧野 和久
15:35-16:05	『移動ロボット、EVに関する時系列データ分析の研究』 トヨタ自動車 未来創生センター 伊達 裕史
16:20-17:00	パネルディスカッション 『産学共創による未来のモビリティを支える基盤数理の研究』 〈ファシリテーター〉 トヨタ自動車 未来創生センター 谷口 真 〈パネリスト〉 フリーランス(自動運転・ロボット事業化支援) 坂上 義秋 トヨタ自動車 未来創生センター 小田島 正 研究統括 山下 信雄 アルゴリズム理論チーム 牧野 和久 機械学習チーム 池田 和司 制御と連続最適化チーム 櫻間 一徳
17:00-17:05	閉会のあいさつ 京都大学 数理解析研究所 牧野 和久

お問合せ

京都大学 モビリティ基盤数理研究ラボ事務局 [✉ amsms.office@amp.i.kyoto-u.ac.jp](mailto:amsms.office@amp.i.kyoto-u.ac.jp)
<https://mobility.amp.i.kyoto-u.ac.jp/>